1. ヒューマニズム教育・医療倫理に関する目標達成度を総合的に評価する。

	4	3	2	1
1−1	病める人や弱者の苦悩を真摯に聞き入ることができ、また、その心情を理解し、共感を示すことができる。 病める人の病態や心理状態に基づいて、臨機応変にサポートする術を身につけている。	人間として幅広い寛容さを身につけているとともに、病める人や弱者をいたわる心を有している。 公共の場で援助や配慮を必要とする人に対して、率先してサポートすることができる。	価値観や立場の異なる人と積極的に交流し、様々な考え方を受け入れることができる。 ボランティア活動に積極的に参加し、周囲と協力しながら活動することができる。	家族や友人など身近な人の話に真摯に耳を傾け、それぞれの考え方を理解することができる。 病める人や支援を必要とする人を助けたいという気持ちを常に持っている。

	4	3	2	1
1−2	薬剤師行動規範を遵守し、患者やその家族の意思を尊重した適切な医療を提供できる。 患者やその家族の個人情報および要配慮個人情報を厳格に取り扱うことができ、厳格に取り扱うことができていない他者を律する事ができる。	薬剤師行動規範を理解し、それぞれの規範を遵守することの意義を説明できる。 薬剤師の守秘義務について、守秘の対象となる主な個人情報および要配慮個人情報を例示することができる。	医療倫理の四原則を列挙し、それぞれを概説できる。 個人情報の適正な取り扱いを理解した上で、SNS等のインターネットを利用できる。	「倫理」の意味を簡潔に説明することができる。 個人情報とプライバシーの違いについて説明できる。

2. コミュニケーション能力・自己表現能力に関する目標達成度を総合的に評価する。

	4	3	2	1
2−1	社会・医療の変遷に対応しながら、薬剤師が担う社会的役割を果たすことが出来る。	体験型学習を通じて、薬剤師に求められる社会的役割を学び、説明することができる。	これまでの薬剤師業務の変遷について説明できる。	薬剤師が担う社会的役割を概説できる。

	4	3	2	1
2−2	それぞれの医療従事者の立場を尊重しながら、互いの知識や情報を交換し共有することができる。 問題解決型学習（PBL）において、提案された解決策について議論を展開し、最適な解決策を導き出すことができる。	それぞれの医療従事者がどのような情報を提供し、どのように協働しているかを理解している。 問題解決型学習（PBL）において、自身および他者の観点を踏まえながら、解決策を提案することができる。	チーム医療の意義およびそれぞれの医療従事者の職務内容を概説できる。 問題解決型学習（PBL）において、他者の意見や発表に対して、自身の意見を論理的に述べることができる。	個人よりもチームを組む方がより高度な作業や学習を行えることを理解している。 問題解決型学習（PBL）において、自身の意見や調べたことを発表でき、他者の発表に耳を傾けることができる。

3. 問題解決能力に関する目標達成度を総合的に評価する。

	4	3	2	1
3−1	医療・薬学に関する課題を解決する為に、講習会・学会・学術誌等で定期的に情報収集・技術獲得をし、有効な課題解決の手段を提案・実践できる。	自身で得た医療・薬学における情報から課題を抽出し、その課題に対する思考・判断から、解決法を導き出すことができる。	講義や実習で知識と技術を獲得し、与えられた課題に対し、思考・判断し、その解決法を導き出すことができる。	情報源から医療・薬学に関する情報を選別し、他者と議論することができる。

	4	3	2	1
3−2	医療・薬学に関するセミナーや講習会で獲得した情報や技術を社会や医療現場に還元できる。	学内外で開催される医療・薬学に関するセミナーや講習会で得た情報や技術を他者に伝え、共有することができる。	学内外で開催される医療・薬学に関するセミナーや講習会に積極的に参加し、新たな情報や技術の獲得に努めている。	医療従事者が生涯にわたって継続的に学習することの必要性と意義を理解している。